

まちの話題 ニュース & トピックス



草取機を使った作業の実演（上）と
水田への出番を待つヒナ達（下）



食の安全、支えます。合鴨のヒナが水田デビュー

6月9日、今元小学校の児童が合鴨農法の体験学習を行いました。食の安全について考えてもらおうと「行橋合鴨農法研究会」の皆さんが呼びかけたもので、5年生38人が参加。合鴨が害虫や雑草を食べたり、泳ぐ際に酸素

を混ぜることで稲に栄養を補給する仕組みなどを学んだ後、「大きくなって」「元気に育って」などと話しかけながら、ヒナを1羽ずつ水田に放しました。秋には稲刈りが行われ、収穫されたお米は給食にも使われるそうです。

著者の山口謔司さんは大東文化大学文学部の教授で、和辻哲郎文学賞の受賞歴があります。今回の著作では政治や経済に加えて文化面などで、謙澄が果たした役割について詳しく解説。郷土の歴史を学ぶ資料としても活用できる内容となっています。

末松謙澄の没後百年を記念して、その功績などを紹介する書籍「明治の説得王・末松謙澄」が刊行され、市教育委員会では、市内の中学生全員にこの本を配布することになりました。

叙勲の喜び 晴れやかに報告

春の叙勲で旭日双光章に選ばれた川崎洋さんが田中市長と長尾教育長を訪問し、受章の喜びを語りました。川崎さんは日本公衆電話会の福岡支部長として、公衆電話の管理や災害時の利用促進などに取り組んでいるほか、学校での防犯活動にも力を注いでいます。勲章を手に「今後も地域に貢献できるように、努力します」と語る川崎さんに田中市長は「おめでとうございませう。安心を支える長年の活動に心から敬意を表します」と祝福の言葉をおくりました。



全国の書店で取り扱っているほか、コスメイトでも販売しています。

